

議会(委員会)行政視察報告

議会運営委員会・総務常任委員会報告 7月31日～8月2日 (新庁舎建設・議会運営について)

埼玉県川島町

人口約2万人で、平成17から24年まで約7年かけて新庁舎建設事業を進め、防災拠点としての庁舎を重要視し、耐震性確保、2mのかさあげ、自家発電設置を擁して復旧対策本部となる機能強化を盛り込んだ。

町民に利用しやすい2階建とし、財源は総工費25億7900万での建設事業に関する事行について、先進地の新庁舎建設事業の取り組み状況を学んだ。



千葉県一宮町

人口約1万3千人。東日本大震災を受けて、老朽化が激しく、耐震基準を満たさないことから、平成22年度から早急に新庁舎建設事業に踏み切った。

町の財政状況を考慮し、約7億の予算規模で建設する必要性があり、建設費用を抑える手法として、プロポーザル・デザインビルド方式による建設を進めた。最終的に費用は7億4千万で、4階建ての耐震性及び津波対策、省エネに特化した新庁舎を見て、先進的な取り組みを学んだ。



茨城県大洗町

議会活性化として、議員の議会活動の出欠状況を議会報に掲載するなどの活性化策や傍聴者増の取り組みとして、議会前の招待状・お礼状送付やポスター掲示、アンケートを実施して取り組んでいた。

町民参加型イブニングセミナー開催や日曜議会を行い、町民と議会の交流を深める取り組みが大変印象的だった。



産業建設・文教厚生常任委員会報告 7月18日～20日 (新庁舎建設・健康づくり・GAP政策について)

茨城県つくば市

茨城県つくば市にあるGAP研究所では、定期的な土壌診断による過剰施肥防止策、トラクター事故防止のための危険箇所マップ作成、出荷時の異物混入事故対策など、農業の現状は改善すべき可能性が沢山あることに改めて気づかされた。

食品の安心・安全、生産労働における安全、将来を見据えた環境保全など、持続可能な農業の進展を図るにも、GAP認証は欠かせない取り組みであるとの認識を深めた。



静岡県藤枝市

去る7月19日、サッカーの街として有名な静岡県の藤枝市を訪れ、健康推進の施策について研修してまいりました。

藤枝市では民間と共同開発したウォーキングのためのアプリ（携帯電話で利用できる機能）を用いて市民の健康意識を高める施策が行われていました。

また、市民の皆様が主体となって自発的に日ごろの運動が行われているなど、協働のまちづくりが実施されており、参考とすべき点が見えてまいりました。



静岡県熱海市

基本設計まで進んでいた庁舎建設は、「財政危機宣言」により市長が延期を表明し、財政改革プランを断行した。その成果として、当初の設計を変更した庁舎建設に着手し、工費を予定の半分以上の16億円で成し遂げた。その工法は、短工期、外壁材の選択、そして椅子などの再利用等々、コスト抑制を意識した工夫がみられた。





町議会傍聴に参加して

小池 孝子

9月11日に広瀬熟年大学の研修会で、塾生22名で会津坂下町議会を傍聴してきました。

最初に渡部正司議員の今夏の問題であった干ばつの対応についての質問に対し、町当局として、各地区をまわり農作物の被害状況等の確認、田んぼが干ばつで亀裂がみられたなどのことでした。夏は干ばつで苦勞し、今秋は雨、本当にどうなるのかと心配しながら聞いていました。

次に小畑博司議員の安心して暮らせる町になるか、獣害の現状と今後の予測についての考えはとの質問について、坂本地区ではイノシシの被害、他の地区には熊等が出没しているが、町には猟銃の資格を持つている方18名、罌の資格を持つている方3名と少ない人数で対応しているとのことでした。猟銃の資格は知っていましたが、罌をしかけるのに資格が必要とは知りませんでした。

した。

その他防災体制の見直し等質問がありました。

次に佐藤宗太議員、町政についての質問事項を読み上げるところで、昼休みとなっていました。

午後の質問の中に協働のまちづくり、当町におけるコミュニティセンターの位置づけは、在り方は、とコミュニティセンターの質問があったのにそれを聞かないで帰宅してしまいました。町当局の話を議場の中で直接聞きたかったなと思いました。ありがとうございました。

議会傍聴に参加して

佐藤 尚子

私達坂下婦人会約10名は広瀬熟年大学の皆様と役場3階議場に集合しました。定刻の午前10時。厳肅な雰囲気のか古川議長より開会の辞があり、一般質問に入りました。挙手により議長が指名し発言する方式で議事が進みます。滞りない質疑答弁による進行は正に町政の頂点であり、集約されたものでありました。その内容は淡々と手持ち原稿



議会傍聴

を読み進めるだけのものではありません。私のような主婦であっても思慮させられた一場面がありました。それは町職員の対応に対する苦言が呈された時でした。町長がえて謝罪した場面です。立場、役割を越えて一人の人としてとるべき姿とは、そして、これは議事でも論じられた事です。公務員の本来の仕事、なすべき事はなにかという点です。最後にこの広報誌「議会だより」が町民に対する広報活動として詳細で臨場感ある情報提供を継続されますようお願いいたします。お手にしている皆様、ぜひ機会を作ってください。積極的に議会傍聴されますようお勧めします。

第3回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。



町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

議会傍聴へおいで下さい

平成30年第4回定例会は、12月6日から14日までの会期(予定)です。一般質問は12月10日(月)、11日(火)午前10時開会予定です。

■前号の記事訂正について
190号の記事について、誤りがありましたので、訂正してお詫言申し上げます。

●訂正箇所

P16 みなさんの声
正) 山内 兵衛門
誤) 山内 兵右衛門

編集後記

今年の夏は、猛暑・渇水。日本のみならず世界規模での地球温暖化によるものと言われる異常気象による自然災害が多発しました。

私たち人間では防ぐことが出来ないものですが、いつ起こるか分からない災害に備えておくことを忘れず、当たり前のように使っている水、電気について家族で話し合えなければと思います。

(委員 横山智代)

議会報編集特別委員会

委員長	猪俣 恒雄
副委員長	赤城 大地
委員	横山 智代
委員	三橋 薫
委員	五十嵐 正康
委員	酒井 育子

